

ほがらか

堀 瞳 地 区 社 協 だ よ り

第12号
平成30年7月発行
発行:堀ノ内瞳町地区
社会福祉協議会
発行責任者 亀山 一



堀ノ内瞳町地区社会福祉協議会総会

堀瞳地区社会福祉協議会の総会が、6月4日に瞳コミュニティハウスで開催されました。平成29年度の事業・決算・監査の各報告に続いて、平成30年度事業計画案、予算案についての審議があり原案通り承認されました。今年度は第3期南区地域福祉保健計画の中間年に当たります。堀瞳地区社協も「暮らし広がれ！堀瞳」をスローガンに、さまざまな取り組みを通じて計画の実現に努めるとともに、誰もがお互いに支え合いながら心豊かに安心して暮らせる地域づくりに邁進してまいります。



総会では今年度の事業計画も決まりました。主な行事を最終面に記載しておりますのでご覧ください。多くの皆さまの参加を期待しております。

地区別計画推進期末振り返り会議を開催

5月14日、瞳地域ケアプラザで開催され29名が出席されました。「第3期地域福祉保健計画地区別計画」の平成29年度下半期に実施した事業の成果・課題等について活発な意見交換が行われました。また、平成30年度も誰もが集える「交流の場づくり」、災害発生時に助けあえる関係「地域住民が支えあう街づくり」を重点項目の柱として、地域の皆さまと協力のもと、更に力強く推進してまいります。



気軽に立ち寄れる むつみ茶屋

むつみ茶屋は月二回の「ランチ」を楽しみに来てくださる皆さんに支えられて、7年が経ちました。高齢者と多世代交流の場として気軽に立ち寄り、顔見知りとなり、支え合える関係づくりの場として始めました。初めての方、一度寄ってみませんか？

「ランチ」50食、用意してお待ちしています。



毎月 第2・第4木曜日 11:00~14:00
場所 横浜青年館 南区瞳町1-15-15

第十回

お笑い演芸会

お笑い演芸会が、1月14日睦地域ケアプラザで、蒔田演芸会会長 崑肉師匠、小学生連を迎えて開催されました。小学生と侮るなれ、ふじ家一門の子ども師匠、ペ子さん・あいすさん・みる姫さんによる落語は真打ち顔負けでした。つぎに、マジシャンYUKIさんによるテーブルマジック・トランプマジックを見て、恒例の愛情あふれる美味しいおしるこをいただきました。



第3回 ほりむつ「防災フェア」

「防災フェア」を、3月18日睦地域ケアプラザ多目的ホールで開催いたしました。今回は、2部構成で第1部は「いざという時に備えて」のテーマで、南消防署蒔田消防出張所、伊藤香織所長に講演をいただきました。DVD(阪神淡路大震災)の放映を観賞し大震災の現場を目の当たりにしました。その後、非常にわかりやすい語りで、地震発生への備え、発災直後の対応、避難生活、自助・共助の大切さなどを訴えられました。第2部は、参加者全員が「防災クイズ」にチャレンジして、景品ゲットを狙い、楽しい時間を過ごしました。「防災クイズ」を通して「いざという時に備えて」の心構えを学びました。

(企画委員 河内五郎 記)



施設見学に参加して

昨年12月1日、新しくなった横浜市民防災センターの体験ツアーに参加しました。1階の災害シアターでは地震による被害状況を見て、地震発生による家屋の倒壊や火災、津波の恐ろしさを実感しました。そして、男女共同参画センター横浜南の常光明子館長が講演され、災害時にはどのように対応すべきか、良い勉強になりました。今後、想定される大地震による揺れを、地震シミュレーターにより体験し、防災の大切さを知る機会となりました。

(河内 五郎 記)



地区懇談会が開催されました

堀ノ内睦町地区懇談会が、5月15日に睦コミュニティハウスで開催されました。地域の方々や区役所の皆さんなど約90名が参加する盛況ぶりでした。今年度は、「続・地域防災力の向上について」と「高齢者の集う場づくりについて」の二つがテーマとして取り上げられました。二つ目のテーマの「高齢者の集う場づくりについて」では、吉田麗子地区社協理事からの趣旨説明に続いて、たかね会、むつみ会及びむつみ茶屋が行っている高齢者食事サービスについてスライドを用いての報告がありました。高齢者が気楽に集まれる場づくりを目指すにあたり、場所の確保、予算上の措置、担い手の確保及び事業の内容などについて活発な議論が交わされ、課題や認識を共有できた貴重な場になったと思います。



堀睦って こんなところです !

第29回 ふれあい芸能ラオケ祭り

堀ノ内睦町連合町内会と更生施設民衆館の共催により、昨年11月23日に民衆館で開催されました。今年は、第30回の記念大会となります。多くの皆様の参加を期待しております。



～ 第 1 回～

南区では、各種統計をもとに各連合町内会別の様々なデータを公表しています。自分が住む堀睦地区はどんな所だろう？ どんな特徴があるんだろう？ そんな疑問にお答えするためにシリーズで紹介いたします。まず第一回目は、基本的な情報から。

堀睦地区は、東側に国道16号及び堀割川、北側に中村川、南側を磯子区につらなる丘陵部に囲まれ、平地と丘陵が混在しています。戸建て住宅が多くなっていますが、平地部には小規模な集合住宅も増えています。また、地域ケアプラザやコミュニティハウスなどの公共的施設も多い地域です。平成27年度の国勢調査では、

世帯数 3,063世帯 人口 6,199人 高齢化率 27.7%

となっています。南区全体の高齢化率は25.7%ですので、それより2.0%高くなっています。また、町内会加入世帯は2,841世帯で、加入率は92.8%です。



地域福祉つづれ ~ 3 ~

社会福祉法人横浜愛隣会
更生施設民衆館 館長 江森幸久

堀睦地区の皆さん、いつもお世話になっております。今回は施設やボランティアグループが地域内で連携することで、今まで出来なかつたことが可能になる活動についてお話ししたいと思います。民衆館では昨年7月から毎月第1土曜日に「てのひら食堂」がスタートしました。地域のお子さんを中心に、30名を超える方にご来館いただき、美味しいランチと楽しい時間を提供させていただいている。この食堂は、民衆館の大型調理設備を活かして何か出来ないかと考え、「南区社協」に相談したところ、地域で食堂を開いていた「むつみ茶屋」や「睦地域ケアプラザ」を紹介いただき、更にお子さんとの関係に精通した「むつみハイム」も加わり検討会を経て始めたものです。一つ一つの施設では人材・金銭的・経験値に限界があって難しくても、連携することで可能になった活動です。民衆館は生活保護法の施設ですが、「地域での公益的な活動」は専門外のことでも積極的に取り組む必要があります。今回のように区社協やケアプラザの働きかけで、地域のボランティア団体や、他法人の福祉施設とお付き合いがスタートできました。次回は更に進んだ連携についてお話ししたいと思います。

紹介

～ふれあいあふれる わが街 第7回～

今号から、堀畠地区の「神社・寺院」を紹介するコーナーです。

今回は堀ノ内1丁目に建立された「青龍山寶生寺」です。

寶生寺(高野山真言宗)は、大変由緒あるお寺で、鎌倉時代承安年間(1171~1175) 覚清法印が草創した寺院といわれ、熊野大権現の別当寺といわれています。その後200余年来は定かではありませんが、室町時代応永年間(1394~1428)に覺尊法印が密法利生のため寶生寺開山と称しました。寶生寺・堀ノ内町の歴史がここから動き始めます。戦国時代、江戸時代を経て、近世明治初年人工的に作られた堀割川によって、丘陵の連なりを断たれて孤峰丘となった常緑樹の森を背に45段ほどの石段を登りきると山門があります。正面に本堂、右側に庫裡客殿があり、左側にやや離れて鐘楼堂があります。関東大震災、太平洋戦争の空襲の被害もなかった当寺の古色あるたたずまいと、山寺の静寂さが感じられます。

所在地 南区堀ノ内町1丁目68番地

「青龍山寶生寺略縁起」及び「南区の歴史」より抜粋
(四方田 信和 記)



子育てサロン

のびのび



毎月第一金曜日に開催しています。5月11日にはコントラバスを演奏できるママさんが、楽器を持参してすてきな音色を聴かせてくださいました。「きらきら星」や「星に願いを」など、馴染みのある曲ばかりで、みんなうつとり聴き入ってしまいました。演奏後は楽器に触れさせてもらいました。Tさん、すてきな演奏ありがとうございました。9月にはサロン開催5周年を迎えます。イベントもあるかも…。是非のぞいてみてください。

開催時間は午前10時から11時30分

会 場 : 堀ノ内町1丁目東部町内会館
対 象 者 : 未就園児とその保護者
参 加 費 : 100円(親子 1組)

| | | |
|-------|----------------------|------------------------------|
| 今後の予定 | 9月 9日 (日) | みんなでチャレンジ 畦地域ケアプラザ |
| | 11月10日 (土) ・ 11日 (日) | 趣味の作品展 畦地域ケアプラザ |
| | 11月23日 (金・祝) | ふれあい芸能カラオケ祭り 民衆館 |
| | 1月13日 (日) | かるた餅つき大会 畦町一丁目西町内会館(育成協議会主催) |
| | 1月27日 (日) | お笑い演芸会 畦地域ケアプラザ |
| | 3月10日 (日) | スポーツフェスタ 共進中学校(育成協議会主催) |
| | 3月17日 (日) | 防災フェア 畦地域ケアプラザ |

編集後記

「ほがらか」の編集委員になって日々浅いのですが、より地域に密着した広報紙として試行錯誤を重ねながらここまできました。努力が実ったときを感じるのは、近所の人、町会の集まりなどで、「誰々さんが写ってた。この記事面白かった。こんなところがこの地区にあったんだ。」など、少しずつでも反応の輪が広がっていると感じるときです。地域の掘り起こしなど、まだまだ行き届かないところがありますが、一人でも多く、「見て・読んで・感じてくれる広報紙」を目指して頑張ります。(四方田)